

(様式第1号)

第11期 第4回 芦屋市環境づくり推進会議 会議録

日 時	令和2年6月25日(木) 10:00~12:00
場 所	芦屋市役所北館3階ミーティングルーム2
出席者	会 長 長井 彦一郎 副会長 池内 清 委 員 浦川 朋子 委 員 大脇 巧己 委 員 新島 進 委 員 半田 孝 委 員 森田 昭弘 委 員 井岡 祥一 欠席委員 上田 順子 欠席委員 田中 理生 欠席委員 船山 静夏 欠席委員 松原 洋子 事務局 米村 昌純 事務局 岡本 祐子 事務局 中田 博己
事務局	環境課
会議の公開	■ 公開
傍聴者数	0 名

1 会議次第

(1) 開会

(2) 新規委員紹介

(3) 議事

ア「第2回環境フェスタ(令和2年2月22日)」について(ふりかえり)

イ 今年度の活動(イベント)内容検討

(4)その他 次回(第5回)日程 月 日( ) 時 分 ~ 時 分

(5) 閉会

2 提出資料

会議次第

第2回環境フェスタについて(報告)

第2回環境フェスタ結果報告(チラシ)

令和元年度子ども環境作文アンケート集計

令和2年度こども環境作文募集チラシ(案)

### 3 会議経過

事務局 本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第4回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。今回は2月22日に環境フェスタを開催しまして、4か月ぶりの環境づくり推進会議となります。

では、早速ではございますが、今年の4月に委員が2名変更となりましたので、ご紹介させていただきます。まず、コープこうべの方から、佐藤委員を選任しておりましたが、4月にコープこうべの人事異動により、佐藤委員に代わって新島委員が新規委員として委嘱されましたので、ご紹介させていただきます。

新島委員 新しく委員となりましたコープこうべ第2地区活動本部の新島と申します。初めてなので、わかっていないことが多いのですが、皆さんよろしくお願いいいたします。

事務局 ありがとうございます。続きまして、北尾委員に代わり、4月より新しく井岡教育部長が新規委員に委嘱されましたので、ご紹介させていただきます。

井岡委員 この4月より学校教育部長になりました井岡です。よろしくお願いいいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは長井会長、会議の進行をお願いいたします。

会長 はい、それではまず、議事に入ります前に、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

事務局 委員12名中、本日8名がご出席でございます。半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

会長 ありがとうございます。本日傍聴の方はいらっしゃいますか？

事務局 傍聴の方はいらっしゃいません。

会長 それでは、議事に入ります。次第に沿って、「芦屋市環境フェスタのふりかえり」について事務局から報告願います。

事務局 はい。2月にイベントを実施してから4ヶ月ほど時間が経っておりますが、報告させていただきます。別紙とカラーの環境フェスタ結果のチラシを合わせてごらんください。「第2回芦屋市環境フェスタ」は、2月22日(土曜日)、芦屋市民センター301室、302室、多目的ホールにて開催しました。301室では、表彰式、講演会、星座早見盤のワークショップを行いました。多目的ホールでは、各環境団体さんのワークショップ、化石の展示、ポスター展・作文コンクールの受賞者の作品の展示を行

いました。

今回の環境フェスタの参加人数は約100名でした。ただし、今回は前回とは違って、参加者全員に受付を記入いただけていないので、正確な人数は把握できておりませんので、301室での表彰式の人数(A)及び星座早見盤ワークショップの人数(B)から推測した人数です。

301室では、表彰式が60名、表彰式参加者を除いた星座早見盤ワークショップの参加者38名でした。多目的ホールでは入口にてスタンプラリーを配布しており、配布枚数は19枚でした。ただし、入場者全員にスタンプラリーを配布しておらず、また表彰式の出席者の多くが多目的ホールに入場していることから、多目的ホールのみでの正確な入場者数は不明です。

前回の参加人数は約200名でした。今回は、当日の天気が雨であったことや、開催日時点ではイベントの自粛要請は出ていなかったものの、テレビ等での新型コロナウイルスの報道が多くなっていたことが、人数に影響していたと考えられます。

まずは、みなさまの感想をそれぞれいただきながら、よかった点と反省点をいただきたいと思います。

会 長     ありがとうございます。環境フェスタを開催したのが2月22日ですので、覚えてない部分もあるかもしれませんが、もう一度当日のことをふりかえってみて、良かった点と反省点について、ご意見いただきたいと思います。

森田委員     第1回環境フェスタの反省をふまえて、会場を増やしてどうなるかと思っていたのですが、中身として充実していたと思います。第1回と比べてそんなに人は少ないと印象はなく、むしろ多かったように感じました。入場者数のカウントの仕方は、これからも回を重ねていくのであれば、工夫が必要だと思います。基本的な形はこのままで工夫をしながら続けていくのがいいと思うのですが、次回は感染状況を見ながら、できるかできないか、するとしたらどのような形がいいか考えていくのがいいと思います。

副 会 長     講演会とワークショップで部屋が別々であったので、皆さん非常に集中して聞けるので良かったと思います。ただ、時間について、昼から開始であったので、講演会の後に、慌てて多目的ホールのワークショップに来るような人もいました。ゆっくりとワークショップや講演会を楽しめるようにするために、時間配分の点では次回の課題であると感じました。また、多目的ホールの配置について、森の会としてワークショップをしていたのですが、どこで何をやっているか、もう少し周知があればいいと思いました。環境フェスタは回を重ねるごとに良いものになっていけばいいと思います。

大脇委員     当日は、多目的ホールのワークショップのところはずっといたのですが、去年と比べて広くなった分、ゆったりとできたと思います。化石はあれだけスペースをとっていただいていたので、子どもたちが化石を触ったり見たりしやすい形であったと思います。逆に空間が大きくなった分、なんとなく子どもたちの数が少なくなったように感じたかもしれません。去年は保護者と子どもと一緒に動いていたのですけれども、今回は子どもだけでワークショップに遊びに来ていて、保護者は作文やポスター等の展

示物をじっくり見ることができるので、非常に良かったと思います。確かに改善点もいろいろあるかと思いますが、次回も同じ形でさらに工夫してできればいいと思います。さらに発展させるのであれば、市内の他の団体さんもワークショップに参加いただけるといいと思いました。

浦川委員 多目的ホールのスタンプラリーについて、ワークショップに参加したら、それで押すという団体もあるのですが、折り紙のところはうまく折れないとスタンプを押してもらえなかったので、少し時間がかかっていました。また、ワークショップでできた作品を持って帰るのに袋がほしいと何度か言われて、新聞紙を折ってのりで袋の形にして渡していました。当日、印象に残っているのはそのあたりです。

半田委員 人数については、実際にはこの人数より多いような印象を受けました。会場を2つに分けることについては良かったと思います。スペースがあるので、自由に材料を使ってワークショップをすることができました。少し残念だったのが、化石の下に新聞紙を敷いていたのですが、白い紙を敷いた方が良かったと思います。白い紙であれば、解説もつけることができます。私の方で戸惑ったのが、表彰式の後に、「講演会の準備をするので一旦ご退場ください」というアナウンスがあって、301室から全員出してもらったため、講演会の際には人がいなくて、講演会がなかなか始められなかったです。講演会の開始が遅くなって、さらに少人数であったので、そのあたりの講演の仕方、中身、時間配分については、改善点があるかと思いますが、もし、次回開催する場合、南極の越冬隊の人に来ていただいて、話をしてもらう予定です。化石の展示については、今回大きなサイズのものを出していましたが、小さいものについては、今回展示した分の何倍かはあります。図鑑でしか見ることができない化石を子どもたちは見ることができるので、今後もご協力をさせていただきます。

事務局 スケジュールについては、難しい部分もありましたね。表彰式の後に、一旦部屋から出てくださいと言うと、ほとんどの人が多目的ホールに行ってしまう。多目的ホールの中でも見るものがたくさんあるので、次に講演会が始まりますと言っても301室に戻ってくる人は少なかったです。講演会の開始時間が遅れたことで、その次の星座早見盤ワークショップの開始も遅れてしまって、星座早見盤ワークショップのみに参加する人が時間通りに来て、待ってもらっていたので、そのあたりは工夫しないといけないなと感じました。今回は部屋を2つに分けて、あのワンフロアを使用したのは良かったと思います。

会長 部屋については、人数が少なかったら広く感じますし、人数が多かったら狭く感じるので、人数に応じた部屋の大きさというのは、考えていく必要がありますね。

事務局 これからはコロナの対策も必要となるので、広すぎてダメだということはないと思います。開催時期についても、来年も2月に行くと感染の状況を見てということになりますし、スペースはなるべく広くとらないと難しいのかなと思います。

副会長 化石の展示については、それだけでひとつの大きなイベントになると思います。よくこの化石は何で

すかと聞かれるので、2人くらい解説できる人をつける、あるいは説明文をもっと充実させることが必要であると思いました。そうすることで、化石にあまり興味がなかった子も興味をもつようになると思います。あれだけの数の化石を並べて、子どもたちがこれは何ですかと名前を聞いて、それで終わってしまうのはもったいないので、もっと有意義に使うことができればよいと感じました。

半田委員 地元の中学、高校の理科部のボランティアがいれば、化石ごとについて面白い話ができるように、こちらが事前に教育して、お手伝いをしてもらおうという方法もあると思います。

森田委員 半田先生の鳥についてのお話も、いいお話だったのですが、人が少なくて残念でした。一般的な生物のお話は他でも聞けるのですが、芦屋でこういう鳥が見ることができるというのは、あの講演会でしか聞けないので、もっと多くの人に聞いていただけるような形にしたいなと思います。

会 長 私は、表彰式で子どもたちに表彰状を手渡したときは、あまり反応がなかったので、本当に子どもたちが喜んでくれているのか心配でしたが、半田先生にご提供いただいた景品を渡すと、子どもたちが笑顔になったので、良かったと思います。表彰状だけでなく、何か景品があると子どもたちに喜んでもらえるのかなと思います。全体を通しては、すごく良かったと思います。色々と改善点があるかと思いますが、そこを見直しながら、いい方向に進めていければと思います。

今回、新しく委員になられた方は、内容がわからないかと思いますが、環境フェスタは今回このような形式でしていたものを、次回どのような形で行うのがいいかを一緒に考えていただけたらと思います。

他に何かありますでしょうか。ないようでしたら、次の議題にうつります。

事務局 それでは、今年度の活動内容について、ご検討いただきたいと思います。まず、昨年は夏休み期間中に作文コンクール、ポスター展の作品を市内の小学校、中学校から募集しておりました。今年度は感染症による休校のため、芦屋市内の小中学校は夏休みが8月1日から8月17日に短縮しています。今年度の作文コンクール、ポスター展の実施についてはどうでしょうか。また、環境フェスタに関してですが、昨年と今年は2月に行っていましたが、来年の開催の時期はどうでしょうか。

会 長 ご意見いかがでしょうか？例年、夏休み期間中に行っている作文コンクール、ポスター展について、今年の実施はどうでしょうか。また、例年2月に実施している環境フェスタの実施時期はどうでしょうか。

森田委員 井岡委員にお聞きしたいのですが、毎年、夏休み中に多くの小学生にポスター・作文を出してもらっているのですが、今年は夏休みが短縮になって、学校現場の児童、生徒の負担という面ではどうでしょうか。

井岡委員 毎年、ポスター・作文は、やりたい子が出してくるかと思うのですが、昨年度は応募はどのくらいあり

ましたか。

事務局 作文コンクールは19人です。最優秀賞、優秀賞、佳作、努力賞として、賞をお渡ししています。ポスター展の応募作品は環境施設課にまず集まりまして、その中からまず環境施設課が受賞作品を選び、その後で収集事業課がパッカー車に載せる分の受賞作品を選び、さらに環境課管理係が市民マナー条例賞の受賞作品を選んだ後に環境づくり推進会議賞の受賞作品を選んでいきます。

井岡委員 ポスターは、子どもたちがたくさん出しているイメージがあって、去年浜風小学校にいたときにはポスターは多くの子が出ているのを見たのですが、作文はあまり目にするのがなかったです。夏休み期間が短くなっても、去年のような数が集まるかはわかりませんが、やりたい子はやると思えます。いろんな課から例年やっていることをやっていいか問い合わせがあるのですが、先日の校長会でも子どもたちに紹介はしてください、ただ絶対に無理にという形ではなくて、やりたい子がいたら集めてくださいといった形でお願いしているところですので、無理ではないです。

森田委員 案内を出す分には差支えないということですね。

井岡委員 ポスターは書きたい子は多いです。作文も書きたい子はそれなりに書いてくると思えます。

森田委員 ポスターはかなり前から実施しています。作文は環境づくり推進会議のみの試みで、まだまだ始まったばかりで、前回は2回目です。作文の応募数は少ないけれども、提出される作品ですごく立派なものがあるので、展示して見ていただくようにしています。環境フェスタの表彰式の実施との兼ね合いもありますが、作文を今年しないというのは惜しい気がします。仮に表彰式をしなくても、表彰状と景品を送ることで表彰はできると思います。

事務局 やり方は考えていけないといけないと思うのですが、作文コンクールはせっかく始めたことだし、続けていくことができればと考えています。今年もできればやりたいなというのが、事務局としてもありません。作文コンクールを今年も実施する場合は、夏休み前に作文コンクールのチラシの配布をするため、7月初めには印刷依頼ができるように、この会議で作文コンクールのチラシの内容の確認もしていただきたいと思えます。

また、ポスター展の図書券の金額について、去年はポスター展の図書券の金額を2000円にしていたため、作文コンクールの努力賞の方に図書券を配布できなくて水晶を景品としてお渡ししていました。その時に次回からポスター展の金額を2000円から1000円にしようという意見もあったので、その金額についても決めていただきたいと思えます。やり方は今後皆さまと話し合いをする機会があると思えますが、作文コンクールを実施する場合はチラシの案をお配りしておりますのでその内容を定めることと、ポスター展の図書券の金額は今日決めていただきたいと思えます。

森田委員 作文コンクールのチラシは、今年度と昨年度でどこが変わっていますか。

事務局 表彰のところで、前回は環境活動報告会で表彰する予定と記載しておりましたが、今回は表彰式の実施方法等が未定であるため、記載しておりません。事務局の案としては、環境フェスタで表彰式を実施するのと、もう一つはポスター展で北館1階に展示する際に、作文の受賞作品も展示して表彰状と景品は別途お渡しすることが考えられるかと思います。

井岡委員 表彰の仕方についてですが、夏休みに色々活動して賞をもらった子は、賞が公的な機関が募集したものであれば、始業式に学校に持って来た場合、学校でも表彰しています。環境フェスタで表彰式が行われなかったとしても、学校の方に送っていただければ、始業式に表彰することはできます。学校で表彰することによって、他の子も作文コンクールっていうのがあって、そういうのでこの子は賞をもらったのだというのがわかるので、少しはアピールになると思います。ポスターは長年実施しているので、皆知っているけれども、作文は終業式、始業式で表彰することで知らない子にも周知できると思います。

森田委員 表彰のやり方については、必ずしも募集の段階で決めておく必要があるものでもないと思います。昨年度の作文コンクールのアンケート結果はどうでしたか。

事務局 昨年度の作文コンクールのアンケート結果を集計したものをお配りいたします。

森田委員 問1で環境学習の助けになるもので、学校の先生と回答した人の割合が少ないですね。

井岡委員 教科書、インターネット、図書館と回答した人が多いので、それらの中に学校の授業に関するものが広く含まれているのだと思います。例えば、家庭科の授業で、家庭での節電やリサイクルの話はしています。

森田委員 問3の⑨で「まちにごみが落ちてなくてきれいですか」に「いいえ」と回答する人の割合が多くなっていますね。

大脇委員 生き物や自然が多くて芦屋のまち自体は好きだけど、ごみなどが多いと感じている子が多いですね。

副会長 アンケートを書いているのはもともと環境に関心のある子が多いですね。環境というと街中を中心に見てしまう。芦屋には山や川があるので、自然を学んでもらいたいと思います。作文を書く題材として山や川に出かけてもらえたらいいと思います。

会長 環境フェスタで、各団体がいつイベントや活動をしているかというリストを配布することによって、子どもたちがそのようなイベントに参加することにつながると思います。我々がそういった自然に連れて

いくというよりも、団体のネットワークを通じてこういうイベントがあるというを紹介してあげることができたらいいと思います。

大脇委員 大阪府の近畿子どもの水辺交流会というグループに入ってさせていただいているのですが、大阪府では夏休みに市民団体が行うイベントや活動を一枚に一覧としてまとめたものがあるので、それを見て参加したい人は申込みことができます。そのような一覧があれば、横のつながりもできるし、参加したい人にとっては役立つと思います。

副会長 芦屋市では広報あしやに掲載しているのですよね

大脇委員 広報だと月ごとにバラバラになるので、一覧にしたものが一枚ある方が保護者はそれを見て毎年計画を立てることができると思います。

森田委員 ホームページに掲載することはできますか。

事務局 環境づくり推進会議のページがあるので、そこに掲載することはできると思います。

井岡委員 環境ではないのですが、夏休みのキャンプとかアウトドア等のイベントについて、どこがまとめているのかわからないのですが、一覧になったプリントが学校に届けられるので、興味のある子はそれを持ち帰って保護者の方と一緒にいくとか、そういった話はよく聞きます。家庭によっては、子どもだけで外に出かけるのは危ないからやめておくように言う場合もありますが、どこかの団体に安心して任せられることができるのであれば、自然に関するイベント等に子どもがもっと興味を持って参加しやすくなると思います。

会長 環境づくり推進会議のホームページでは、そのページにたどり着くのには時間がかかるので、トップページからたどり着きやすくなればいいと思います。

井岡委員 情報がここにありますよというのを言わないと見に行かないので、プリントとして配られた方が子供たちは見に行くと思います。

事務局 環境フェスタの受付に、各団体がいつイベントや活動をしているかという一覧を置くのもいいかもしれないですね。ただ環境フェスタはもともと興味のある方が来るので、興味のない方にどう発信するかですね。

大脇委員 作文コンクールのチラシに QR コードを載せて、環境づくり推進会議のホームページを見てもらうというのもいいと思います。



森田委員 QRコードを載せるのはいいですね。QRコードを載せるのにちょうどいいスペースがありますね。

会 長 もし、それができるのであれば、環境づくり推進会議のホームページにリンクするということですよ。

事務局 はい。環境づくり推進会議のホームページに一覧表を載せることもできます。では、作文コンクールのチラシの表紙の右下にQRコードを載せて、環境づくり推進会議のホームページにリンクするようにします。

森田委員 ポスター展の金額も今日決めるのですね。

事務局 はい。昨年度の推進会議でも、作文コンクールで努力賞の子にも図書券を渡せるようにするためにポスター展の金額を2000円から1000円にしようと話していました。

大脇委員 ポスター展の環境づくり推進会議賞の受賞者の金額は全て同じですか。

事務局 昨年度の環境づくり推進会議賞は全員2000円にしていました。

大脇委員 ポスター展の環境づくり推進会議賞の中でも優劣があると思うので、全員同じ金額でなく、最優秀賞、優秀賞のように金額に差をつけてもいいと思います。

事務局 どうでしょうか。昨年度の推進会議では、ポスター展の金額を2000円から1000円にしようと話していました。

浦川委員 ポスター展の受賞者の中で、さらに順位をつけるのは難しいと思います。

副会長 作文であれば、内容で順位をつけることができますと思いますが、ポスターでは難しいと思います。ポスター展の受賞者の金額を全員同じにするのであれば1000円でいいと思います。

森田委員 子どもにとっては、ポスター展は他の課にも賞があるため、環境づくり推進会議の中で、色々な賞を作らなくていいと思います。

事務局 では、ポスター展の金額を2000円から1000円にします。

森田委員 環境フェスタの実施時期も決めるのですよね。まだ先の状況がわからないので、今、するかしないか決めるのは難しいですね。するとしたら、2月の何週目を実施するとか、今決められることはその程度ですね。

副会長 状況を見ながらですね。実施するとしたら2月の同じ時期にするのがいいと思います。年によって実施時期を変えるよりも、毎年同じ時期にする方が認識してもらえます。

森田委員 完全に元通りにはならないと思うので、化石も自由に触って下さいというのも次回は難しいかもしれないですね。様子を見ながらですね。

大脇委員 子ども向けのイベントをしている子育て支援のグループがあるのですが、今まで1月～3月に行っていたイベントを年内にやろうとなっており、1月～3月に予定されるイベントが少なくなるので、逆に2月にするのがいいと思います。

事務局 やり方は変えていかないといけないと思うのですが、内容はこの2年でとてもいいものになったので、工夫しながらどうやっていくかをこれから話し合いの中で決めていけたらと思います。

会長 来年も同じ時期にする方向で準備を進めて、感染の状況がどうなっているか様子を見て、広がっているようであれば、その時は中止という形をとらざるを得ないとは思いますが。今はやる方向で進めるというのでいいと思います。

森田委員 来年の2月の3週目であれば、2月20日ですね。

事務局 2月20日の土曜日ですね。

森田委員 先ほどポスターと作文を実施することになりましたが、表彰式はできるかわからないので、もしかすると表彰式なしとなることもあり得るということですよ。

事務局 はい。今年のポスター展は11月20日から12月7日まで例年通り展示スペースで行う予定で、それに合わせて作文の展示もするというのも一つの方法かと思います。

森田委員 今は先の状況がわからないので決められないですね。

事務局 そうですね。準備することは例年と同じなので、今後状況を見て、やり方を決めていくのがいいかと思えます。

会長 まとめると、作文コンクールは前回と同じ内容で実施する、チラシにQRコードを追加する。また、環境フェスタの時期としては2月20日の土曜日の予定で、その時の状況を見て実施について判断し、内容についてはこれから考えていくということですね。

事務局 6月末までに作文コンクールのチラシにQRコードを追加して、メールにて修正案を委員の皆さまに

お送りいたしますので、またご確認ください。

会 長 何か全体をとおして質問等あればお願いします。ないようでしたら、事務局よりお願いします。

事 務 局 今回の会議で皆さんに作文コンクールやポスター展、環境フェスタのことについて、話し合っていました。例年であれば、ツルヨシの除草をこの時期に行っているのですが、それもコロナの影響で行っていないため、今年度の環境づくり推進会議の活動をどう進めていくのかを次回の推進会議で話し合っていたきたいと思います。次回の推進会議は7月末から8月初めの間で開催したいと思います。また、メールで日程調整いたしますので、ご確認よろしくをお願いします。

会 長 当初予定していた議事は全て終わりましたが、他に何かございますか。ないようでしたらこれで、第4回環境づくり推進会議を終了します。ありがとうございました。